

おーい図書館

No. 59
発行 代表 おーい図書館
青木 和子
松本市総台 830-160
TEL 367-15384

浦安市立図書館見学会 松本市立図書館見学会

5月17日(水) 会が発足してから8回目の浦安図書館見学会を行いました。参加者は11名でした。午後は、松戸図書館を訪問しました。

今回は、「広報まつど」と「松戸よみうり」に、案内が掲載されたこともあり、会員外の方が6名参加されました。市議会議員は2名参加。他に2名の市議が、利用者として独自に浦安図書館を体験してくださいました。

市長さんは本好き?!

渡辺美喜子 市議

今回やと 浦安図書館の見学会に参加させて頂きました。松戸の図書館も御一緒させて頂きました。松戸の図書館が瞬間の都合で参加できず残念でございました。

「おーい図書館」の会報に熱く語られているように、浦安図書館は、ゆったりとした雰囲気の中に来館する人々に対する優しさを随所に感じました。館長さんのお話も素晴らしく、元々読書をあまり得意としないで育ってしまった私には反省の念と、それを踏まえた今後の自分の課題とが頭の中を駆け巡っております。

まで様々な情報を提供しているのは図書館だと思えます」とか子供に本を好きにさせるのは簡単な事です。良い本をいつも身のまわりに置いてあげる事です。そして子供が成長する大切な時期に読み聞かせをして欲しい。等々の館長さんのお話に、まなくその通りだと思えました。

浦安市の場合は、財政事情も大きく違う事もありますが、市長さんが本好きで図書館づくりに関して真剣だった事も大きな要因であったようにお話をしましたが、私も議員の立場として、しつかり勉強してゆかなければと感じて参りました。

建物の充実、専任職員の充実、本そのものの充実等々いろいろと角度から考えてゆくと、市民の声と専任職の声と行政とが真剣な意見を交わしながら図書館づくりに臨む事が大切だと改めて感じました。

松戸市にも一日もはやく素晴らしい図書館が誕生する事を願って、日々

「お腹の中にいる時から七くなる

努力して参ります。

有意義な時間を過ごせました事を心より感謝申し上げます。



正しく有効な

情報提供ができるよう

小山田 義夫

「おーい図書館」主催の浦安図書館見学会に参加した。

昨年10月、これも同グループ主催の浦安図書館長常世田氏の講演会に参加し、これからの地域図書館のあり方について蒙を啓かれ、いつか機会があれば、同図書館を实地に見学し、その活動ぶりを、実見したいものと思っていたのでよい機会であった。

当日は改めて常世田館長の同図書館運営の理念と活動状況について話を伺い、さらに、同館長の案内で館内の隅々まで見学させて頂き、大いに啓発させられた。

常世田館長の話と館内見学から

得たものは多々あったが、その学んだ事の一、二を紹介がてら感想を述べたい。

その一つは市民が求める情報の重要な発信源としての図書館の役割は今後ますます大きくなるだろうという事。図書館が広い意味での生涯教育（人間の誕生から死に至るまで）においてそれぞれ成長段階で常に正確で有効な情報を提供する役割を拵っているという理念である。それは両親を通しての胎児段階から始まり、幼児期、学校教育期、職業期、さらに老令期になっても変わらない。

かつて浦安市で図書館予算が削減されようとした際、市議の多くが反対し、削減を免かれたという。それは、市議諸氏が市政を勉強する際、常に図書館からの情報提供の恩恵を受けており、図書館が果たす役割を十分

認識していた事が一つの理由であろうと館長は述べている。

ちなみに同館では全員ではないが各市議が発行した議会リポート活動報告等までが整理され、閲覧に供されている。

その二は図書館がしつかりした理念を拵り、実践していくためには館長はじめ専任職員が、司書資格を拵り、市民の求める情報に肉し正しく有効な情報提供という観点から常に勉強していく体制を創りあげていかねばならないだろうという事である。

予定されている松戸市図書館本館建設においても浦安市立図書館の事例を十分参考にして、それに優るとも劣らない内容、施設を拵り図書館にしていく事が強く望まれる。



「図書館政策は最終的には
有権者・納税者の
判断にゆだねらるる」

鴨田 雅子

今回初めて浦安図書館見学に参
加しました。

南館前にもかかわらず、デパー
トの南店前のように多勢の人々が
待っていた事にまず驚かされました。

最初に、常世田館長のお話を伺
いました。

今後の社会は、ますます自己判
断、自己責任を問われる社会へと
移行していく事、そのためには、

より早く、より正確な情報を市民
に公平に提供する必要のある事、
その責務を図書館が任っている事
などを伺いました。

次に館内を案内して頂きました。
まず児童書のコーナーです。入口の
正面の低書架には教冊の絵本の表
紙をディスプレイしてありました。

こちらにはまっとう子供達の目を釘
づけにする事でしよう。私自身
が昨年PTAサークルで読
み聞かせをしている事もあり、
児童書の充実したコレクション
を大変うらやましく感じました。
一般書架、レファレンス室(本の
相談コーナー)と続いて南架書庫
の「本の森」そして、南架書庫へ
と案内して頂きました。

ここへ移された本達は、その
後リサイクルセンターを経由し
て分割方は市民に引きとられ、
本としての使命を果すようです。
どのコーナーも広々とした空間を
とっており、そこかしこに机や
イスが配置され利用者の便を考
えていました。

「豊かなハード面にも増して、利
用者の要求に答えるべく情熱を
培ち、働いている職員がいます」と
誇らしげに館長が話されて
いたのが印象的でした。

けれど、今回もっとも心に残っ
た事は

「図書館政策は、最終的には、有
権者、納税者の判断にゆだねらる
る」というお話でした。

この様な図書館を見学してただ
うらやましく思っているも仕方あ
りません。

「おい図書館」が行政に働きかけ
つつ勉強されている事を、初めて
知りました。

より身近な図書館を希う人々は
まうと数多くいるはずで。それ
らの人々と、そして何よりも図書
館自身と連携をとるから、より
よい図書館作りを目指す必要性を
感じました。

貴重な一日をありがとうございました。



努力して参ります。

有志義士時間を過ぎせました事を心より感謝申し上げます。



正しく有効な

情報提供が出来るよう

小山田 義夫

「おーい図書館」主催の浦安図書館見学会に参加した。

昨年10月、これも同グループ主催の浦安図書館長常世田氏の講演会に参加し、これからの地域図書館のあり方について蒙を啓かれ、いつか機会があれば、同図書館を实地に見学し、その活動ぶりを、実現したいものと思つたのでよい機会であった。

当日は改めて常世田館長の同図書館運営の理念と活動状況について話を伺い、さらに、同館長の案内で館内の隅々まで見学させて頂き、大いに啓発させられた。

常世田館長の話と館内見学から

得たものは多々あったが、その学んだ事の一、二を紹介がてら感想を述べたい。

その一つは市民が求める情報の重要な発信源としての図書館の役割は今後ますます大きくなるだろうという事。図書館が広い意味での生涯教育（人間の誕生から死に至るまで）においてそれぞれの成長段階で常に正確で有効な情報を提供する役割を拵っているという理念である。それは両親を通しての胎児段階から始まり、幼児期、学校教育期、職業期、さらに老令期になつても変わらない。

かつて浦安市で図書館予算が削減されたようとした際、市議の多くが反対し、削減を免かれたという。それは、市議諸氏が市政を勉強する際、常に図書館からの情報提供の恩恵を受けており、図書館が果たす役割を十分

認識していた事が一つの理由であろうと館長は述べている。

ちなみに同館では全員ではないが各市議が発行した議会リポート、活動報告等までが整理され、閲覧に供されている。

その二は図書館がしつかりした理念を拵ち、実践していくためには館長はじめの専任職員が、司書資格を拵ち、市民の求める情報に肉し、正しく有効な情報提供という観点から常に勉強していく体制を創りあげていかねばならないだろうという事である。

予定されている松戸市図書館本館建設においても浦安市立図書館の事例を十分参考にして、それに優るとも劣らない内容、施設を持つ図書館にしていく事が強く望まれる。

